

「弾薬庫130棟」に疑問

元自衛艦隊司令官が会見

香田洋一（元自衛艦隊

司令官は19日、日本記者クラブで会見し、長射程の敵基地攻撃ミサイルを保管する大型弾薬庫を全国で130棟設置する計画について、「日本は國家の近くに造らなければならず、今まで造れず」と困

つていた。いまなり「30棟造れるのか」と疑問視しました。130棟の設置計画は、日本共産党の小池晃書記局長の質疑（2月の参院予算委員会）で明らかとなつたものであります。

香田氏は、弾薬庫の建設には、安全確保や

土地買収などの課題があり、「全く行き詰まつてあた」と指摘。「（防衛省は）今までやっていないことをやると言つて、困るのは自衛隊だ」と語りました。

また、自衛隊の弾薬を製造する国内企業は

1社だけだとして、「弾薬を作れる会社がない。（安保3文書は）現実から離れた作文だ」と批判しました。

米国からトマホークを購入しても、高度な誘導システムがなければ「使い物にならない。米国は最適に使うために20年かけてきた」と指摘。「日本は弾だけでも、こういう議論を一切せずに走っている」と語りました。